

甲山福祉センター夙川さくら保育園 令和6年度事業報告

目指す姿 <将来にわたり持続可能な運営を目指す>

プラン1 **その人らしく生きることを支援する**

- (1) ① 年度始めに理念など、全職員で共有しました。子どもの最善の利益を踏まえた保育内容については、公開保育や前期総括で意見交換を行いました。
- ②職員間で自分の言動の振り返りや、全職員で大切にしたいことなど、グループディスカッションを行い、方向性の確認をしました。
- ・大型遊具や縄跳びあそびなどの全身を使った継続的な取り組みと、散歩では自然に触れ歩くことを楽しめるようねらいを持ち実施いたしました。
 - ・夏は、水、砂、泥、氷の感触あそびやクッキングを楽しみました。
 - ・異年齢児交流を行い、特にリズム運動を中心に体作りに力を入れました。
 - ・食育の日には、郷土料理を提供しました。子ども向けのポスターを作成して、食事関連の挨拶を身につけているところです。プランターでは春野菜を収穫した後、冬野菜も育てて、クッキングの食材として使用しました。
 - ・友だちを大切にできる気持ちが持てるよう、幼児クラスは、担任が子どもたちと一緒に言動を振り返り、乳児クラスは、子どもたちの声を代弁し、ともに生活する心地よさを感じていけるようにしていきました。
 - ・生きる力を育んでいくために、一人ひとりの頑張っている姿を認め、前向きな気持ちや意欲を持って取り組めるよう支援しています。
- ③アウトリーチ（子どもたちを支援する時の保育士側の手立ての助言や支援を教育、心理、福祉、医療などの専門スタッフを招き学んだ内容）からの学びを保育現場で活かしていきました。
- ・日常生活での節約できる場面では、子どもと一緒に考えて取り組みました。
 - ・ドキュメンテーションやブログは、定期的に発信し、インスタグラムも開設いたしました。
 - ・お箸プロジェクトのたたき台がほぼできあがり、実践できるところ

から保育に取り入れています。

- ・昨年度より地域支援事業の実施回数を増やし、また「子育てカフェ」も継続することで、地域の方にも喜んでいただいています。

- (2) ① 再度、全職員で信頼される園とは何かを考え、意見交換する機会を持ちました。
- ② 下半期に保育所保育指針を基に、上半期の振り返りも踏まえ、共通理解を深めていきました。
- ③④ 毎月公開保育を実施し、よりよい保育内容につながるように建設的な意見を大切にし、振り返りを行い昨日→今日→明日につながる保育実践を目指しています。
- ⑤ 保護者からの子育ての悩みに傾聴し、保育士も一緒に考えていく姿勢を大事にしています。
- ⑥ 全職員に理念行動表を提示し、職員面談でその大切さやチームワークの重要性を含め、振り返りや改善に努めています。
- (3) ① 手洗いや配膳方法など、管理栄養士が各クラスに入り、指導し確認をしています。
- ② 報道があった内容についても職員会議や緊急会議で自園の対応策を考えています。
- ③ 不適切保育の具体的な内容の読み合わせとチェックリストを用い、意見交換も実施し、行動の洗い直しを確認しました。
- ④ 「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を基に、全職員が振り返り後、職員間で共有し、できるところから意識的に改善していくよう見直しています。

プラン2 仕事を通じて人を育てる

- (1) ① 行事では、経験豊富な保育士がリードしながら、若手保育士の力を引き出せるように支えています。
- ② 交換研修後の振り返りにも参加することで改善点や新たな学びを吸収しました。
- ③ 交換研修の実施は叶いませんでしたが、5歳児交流をとおして、北山学園の職員の関わり方を間近で感じ、学ぶことができました。
- ④ 外部研修にも積極的に参加し、学びの場を広げています。
- ⑤ 2歳児クラスの公開保育を日頃の様子も含め、職員連携の課題にも踏み込み、指導しました。
- ⑥ 年間をとおして、実施しています。
- ⑦ 実施は叶いませんでした。来年度の実施を目指します。

- ⑧ 研修報告書の公開や、保育所保育指針を照らし合わせた振り返りの実施、公開保育の充実に努めました。
 - ⑨ 準備や片付けの簡素化できよう、クラスの枠を超え遊びの共有をしています。その中で、年齢にあった保育内容が展開できるよう工夫しています。
- (2)
- ① 年間をとおして、計画的に参加しています。
 - ② 外部講師やひょうご乳幼児保育マイスター資格者の助言を保育現場に取り入れることで、職員間の共通の実践につなげている最中です。
 - ③ 特に心理士からの学びは、その時の状況と子どもの心の動きを的確に察知している具体案が示されたことで、すぐに保育士も行動に移しています。
 - ④ 受講条件が変わり、対象者がいませんでした。
 - ⑤ 児童発達支援施設からの呼び掛けもあり、共通理解が進みました。
 - ⑥ 文部科学省が2018年より実施しています、小学校入学前までに育て欲しい子どもの姿や能力を10の項目にまとめた「幼児期までに育てほしい10の姿」を意識し、就学に向け生活できる環境を整えていきました。
 - ⑦ 未受講のキャリアアップ研修を中心に受講意欲が高まっています。
 - ⑧ 実施までに至りませんでした。来年度の実施に向け計画を立てていきます。
- (3)
- ① 1月に2名表彰を受け、現在は、さらに自信を持ち保育に臨んでいます。
- (4)
- ①②③ 日頃から声をかけることを意識し、気になる点については、意図を尋ね傾聴し、一緒に考えるようにしています。各職員の行動や保育内容など、良かった点については、認め言葉がけを大切にしています。

プラン3 利用者、職員の安全・安心を確保する

- (1)
- ① 定期的に参加し、地域に関する情報収集や保育園からの発信に努めています。
 - ② 11月、防災士の千歳町自治会長さんより、当日、お話をいただきました。地域一体で防災や減災意識を高めています。
- (2)
- ① スマートフォンを各クラスと一時預かりクラスが持ったことで、有効的に使用しています。
 - ② 過去のデータを保存と整理をし、すぐにデータを取り出せるように

しています。

- ③ 担任間でケガの経緯に至る状況の確認と、保護者説明や再発防止に役立てています
 - ④ カリキュラムなど、検討した結果、現在の書類を活用していくことになりました。
 - ⑤ 今年度は、紙媒体で進めて行くことにしました。
- (3) ① 全職員でデモを試し、来年度から0歳児6人分を実施していきます。
- (4) ① 今年度のものに新ガイドラインを加え、令和7年度、活用していくことで整備しました。
- ② 全国の窒息事故、不適切保育などの報道時には、緊急の職員会議を開き、意見交換会后、関連の事故防止の動画を配信し、未然防止に努めています。
- (5) ① 総括から課題点を見出し、再度確認と周知、勉強会を実施しました。
- ② 気が付いた時、見聞きした時など、すぐに伝え、改善策を立て実施に努めました。
 - ③ 人権委員会が中心となり、問題点や課題などをあげ、未然に防げるよう対策を掲げています。
- (6) ① 他の備蓄品の取り出しやすい場所の整備を重点的に行ないましたので、来年度スペースの確保から適切な場所を考えていきます。
- ② 避難訓練時に保管場所の確認を同時に行い、防災部会と管理栄養士が柱となり、動作確認を実施しています。
 - ③ 年2回、一覧表を作成し、BCPの見直しも行いました。
 - ④ 扉付近、廊下には物品を置かないよう徹底し、避難経路の重要性を伝えています。
 - ⑤ 避難訓練のねらいに沿って、必要な場合は着用しています。
- (7) ① 心理的安全性を意識することで、職員に浸透し実践していけるよう努めています。
- ② まずは、クラス間でのコミュニケーションを積極的に図ることを進めました。
 - ③④ 保育現場で研修での学びを活かしていけるよう「やってみよう」の意欲を大切にしています。

プラン4 将来にわたり持続可能なサービスの提供の基礎をつくる

- (1) ① 変更しました。
- ② 19時30分の閉園に合わせ、F勤務を導入しました。土曜日保育など保護者の就労時間が変動する場合は、E勤務にするなど柔軟に対応しています。
- ③ 北山学園との人事交流を実施いたしました。
- (2) ① 月1家庭ほど対象者がいます。
- ② 4月に新入園5歳児の辞退が1名ありました。それ以降も95名で推移し、12月から1名入園があり、96名、120%で推移しました。
- ③ 上半期の利用者が、延べ人数906名、平均利用率も92.07%でした。年間では、1787名 92.30%となり、年間目標の達成となりました。
- ④ 年間28回の実施で、延べ629名、園見学は125組ありました。
- (3) ① 毎月実施し、修繕箇所がある場合は、早急に取りかかり安全を確保しています。
- ② 改修コンサルタントの意見をお聞きした上で、管理部長と相談します。
- ③ 3月に実施いたしました。

目指す姿 <存在感のある法人を目指す>

プラン5 地域の人々が利用したいと願うサービスを提供する

- (1) ① 時間帯は現状の午前10時開始、内容は食事関連の興味関心が高かったです
- ② 園見学のご家庭より問い合わせがありました。子育て支援事業にお誘いをしています。
- ③ 5カ月からの受け入れを募集しましたが、希望者はいませんでした。
- ④ 父親の参加と両親の参加が増えました。
- ⑤ 平日は来園者が少なかったため、例年通り土曜日にも実施したところ、多くのご家庭に来園いただきました。
- ⑥ 地域子育て支援時には、毎回呼びかけ、多くのご家庭に利用していただきました。
- ⑦ 年間125組の見学家庭があり、熱心に質問もされていました。
- ⑧ 遠方の方から問い合わせには、メールで質疑応答を行いました。

- (2) ① 保護者からの相談を傾聴し、必要時には西宮市と協力体制も継続しています。
- ② インスタグラムを開設し、幅広く知っていただけるよう定期的に配信しています。
- ③ 年2回のクリーン大作戦の地域清掃に参加しました。
- (3) ① 3名の正規職員が研修に参加し、資料は全職員と共有しています。
- ② 検討までにはいたっておりません
- (4) ① アンケートを集計から、保護者軽減になりますが、料金設定に難色が見られました。
- ② 夏まつりに午後の部を設定し、30組が来園し親子で楽しんでいただけました。
- (5) ① 相談があった場合は、すぐに対応し子育ての悩みに寄り添うようにしました。下半期には掲示板を用い、さらに地域に向け対象者を広げていきます。
- ② 連絡体制を密にし、継続的に実施しています。
- ③ 地域支援事業後、相談を受け、子育ての自信を取り戻され、帰宅されています。
- (6) ① 9カ月のお子さんも受け入れも実施し、喜ばれています。
- ② 慣らし保育の回数が増えたことで、通常利用までの期間が短くなりました。
- ③ 面接時に、生活面では施設長、食事面では管理栄養士が聞き取り、ご利用後は、係長が育児相談にのることで、より専門的に具体的なお話をする機会が増えました。
- (7) ① 子育て支援事業や園見学に参加するご家庭が増えています。
- ② 参加者が急増しています。体調の事、出産後の不安にも寄り添っています。
- ③ 参加対象者の枠を広げたことで、保護者同士が、お子さんの発達見通しや悩みなど意見交換の場となり、保育士が仲介役となり、進めています。
- (8) ① 定期的に配信し、より保育園での生活を知っていただく機会を意識的に増やしています。
- ② 次回の行事をコマーシャルすることで、お帰りの際に申し込みされるご家庭が増えました。
- ③ 管理栄養士が、献立の紹介や地産地消にも力を入れている内容を配信しています。
- ④ 園だよりでも、写真入りで実施内容をお伝えしています。

プラン6 SDGs達成に向けた取組など、これからの社会に貢献する法人を目指す

- (1) ① 一昨年に全職員の強みを出し合い、昨年度はその強みと保育内容を絡めた意見交換会を実施し、今年度は年間予定表を基に、うたと絵本を中心に取り組み始めました。
- ② 子どもたちの馴染が高い日常生活の内容から取り組んでいます。
- (2) ① 管理栄養士と地元業者と密に連絡を取り合い、旬の野菜を中心に適正価格を見極め購入しています。法人栄養士部会でも情報交換し、調味料の仕入れの参考にしています。
- ② 献立の統一を継続しています。
- (3) ① お知らせは、配信に移行しました。
- ② 2園の事務員が連絡を取り合い、情報交換を積極的に行なっています。

プラン7 地域の福祉人材を育てる

【夙川さくら保育園】

- (1) ① 夏は、猛暑が続いたため、安全を考慮し実施を見送りました。
- ② トライやるウィークは実施し、保育現場の楽しさを体験できたことで、将来保育士を目指したいと話してくれました。
 - ・法人のホームページも案内し、より深く福祉について知っていただける機会を持ちました。
- (2) ① インターンシップの希望者はいませんでした。
- ② 実習後、1月からアルバイト1名を採用しました。
近隣にお住いの4名のボランティアの方が、保育準備や保育環境整備など、現在活躍していただいています。その中に外国の方もおり、食に関する異文化交流を深めています。

プラン8 人々に信頼される法人を目指す

- (1) ① 面談する日を早急に設け、保護者の方のご理解が得られるように、改善策をお伝えし、早期解決に向けた行動をとっています。
- ② 夏に、保護者会会長と意見交換会の場を設けました。
- ③ 全職員が具体的に未然防止に向けた内容を深め、適切な言動を再確認しました。
- ④ 定期的に協力いたしました。
- (2) ① 園見学時に、法人内の各施設の特徴にも触れ、協力体制をアピールしています。

- ② あいあい広場での開催もコマーシャルし地域の方に足を運んでいただきました。
 - ③ にしのみや苑や北山学園との交流は、おたよりで配信し、お知らせしています。
- (3)**
- ① 定期的に周知と徹底を行い、目線合わせをしています。マニュアル整備は下半期に実施しました。
 - ② 指摘項目についてその場で改善後も、定期的に確認と点検を実施しています
 - ③ 全職員で行政からの通達は共有し、必要時には、保護者にも周知しています。